

皆さん平成26年はどのような1年でしたか。美祿市内でも色々な出来事がありました。平成26年美祿市の10大ニュースを振り返ってみましょう。

台湾でジオパーク認定を目指す野柳地質公園と「観光交流・学術交流促進に関する協定」を締結

2月15日、本市と台湾のさらなる交流を推進するため、一般社団法人美祿市観光協会（山本勉会長）と野柳地質公園（台湾新北市）の管理運営企業である新空間国際有限公司（楊景謙総経理）が「観光交流・学術交流促進に関する協定」を締結しました。



美祿市観光協会にとっては、初の海外事業であり、新空間国際有限公司（野柳地質公園）にとっても日本側と締結する最初の協定となりました。

併せて村田市長を団長とする訪問団が南投県政府及び水里郷公所を表敬訪問しました。また、前日14日からは南投県で台湾ランタンナイトフェスティバルが開催され、村田市長が日本からの訪問団代表として点灯式に出席しました。

3校の歴史に幕

桃木小学校、3月19日。下郷小学校、本郷小学校、3月22日。これらの3つの学校において、閉校式がありました。

桃木小学校は、111年の歴史に、下郷小学校は、121年の歴史に、そして本郷小学校は、140年の歴史に幕を閉じました。3校は、それぞれに長い歴史をもち、地域から愛され続けてきました。地域から大切にされてきた学校は、これからも地域のことを温かく見守ってくれることでしょう。



山口大学と包括的連携・協力に関する協定を締結

3月5日、市は国立大学法人山口大学と包括的連携・協力に関する協定を締結しました。

この協定締結により、今後地域課題の解決や地域政策の研究などにおいて、それぞれが有する資源を活用した組織的かつ効果的な取り組みを行っていきます。



「Mine秋吉台ジオパーク構想」スタート

4月14日に「Mine秋吉台ジオパーク構想」という新たな名称が決定し、ジオパーク認定再チャレンジに向けスタートしました。

また、Mine秋吉台ジオパーク構想について落語を通して楽しく学んでもらうため、11月15日には、立川志ら乃

（たてかわしらの）さん創作の「Mine秋吉台ジオパーク落語」のお披露目公演会を開催しました。当日は500人を超す来場者があり、大盛況となりました。

m.

That's Mine. It's Mine

**Mine秋吉台
ジオパーク構想**

MineCollection認定審査会及び認定商品決定



市の地域ブランド「Mine Collection」の審査会が開催され、20商品が認定され、4月5日に開催された「みね桜まつり」において認定者に認定証が交付されました。

皆さんも認定商品をご購入されるとともに、友人・知人等にご紹介いただきますようお願いいたします。

美祿市ふるさと交流大使 (新たに2人委嘱しました。)

7月26日に切り絵画家の久保 修さん
(左側写真)、9月19日には漫画家の苑場
凌さん(右側写真)にふるさと交流大使
を委嘱しました。



姉妹校宣言締結式

8月4日から7日まで
の4日間、台湾南投県立水里国民中学の生徒22人
と引率者5人の27人が、於福中学校で行われた交
流事業に参加するため、美祿市を訪問し、6日に
水里国民中学の陳校長と於福中学校の徳野校長が
姉妹校宣言に署名しました。



美祿ランタンナイトフェスティバル

昨年まで開催されていた「美祿アンモナイトフェスティバル」の
後継事業として開催されたもので、市が交流を進めている台湾から
譲り受けたランタンが会場内外
に飾られ、点灯時には大きな歓
声があがりました。また、地元
を中心とした飲食店ブース等が
設けられたほか、市民会館の壁
を利用したプロジェクション
マッピングが披露され、多くの
来場者を楽しませていました。



東大寺サミット2014inみね開催

「東大寺サミット2014inみね」が10月25日に
開催されました。東大寺建立にかかわった市町
の代表者が一堂に会し、参加市町のまちづくり
の事例発表やサミット宣言が行われたほか、美
東中学校生徒による発表や太鼓の演奏、さら
には東大寺別当の筒井寛昭様下による講話や、歴
史に詳しい著名なマンガ家里中満智子先生による
講演も行われ、大盛況と
なりました。

また、それに先立って
「東大寺サミット2014inみ
ね」・「長登銅山跡」・
「大仏ミュージアム」の
PRキャラクターとして製
作された大仏の赤ちゃんを
イメージしたキャラクター
「こぶっちゃん」の名前が
発表されました。



青嶺高映像研究会 アジア国際子ども映画祭文部科学大臣賞受賞!!



10月12日に秋吉台国際芸術村
で開催した、美祿カルスト子
ども映画祭(兼アジア国際子
ども映画祭中国ブロック大会)に
おいて、県内外から応募された41
作品の中から青嶺高映像研究会
が制作した作品名『「夢」』が
大賞を受賞し、アジア国際子
ども映画祭(以下、国際大会)に

ノミネートされました。
国際大会では、海外から15の国と地域から48作、国内からは各
ブロック大会に応募のあった192作品うち優秀作品24作品がノミ
ネートされるなか、栄えある文部科学大臣賞を受賞しました。

平成26年美祿市 10大ニュース